

## 共同研究奨励グループ活動報告

### 共同研究「〈表象〉としての日本—国際日本学の新展開—」

本共同研究グループは、2005年4月に学内の共同研究奨励助成の採択を受けたものであるが、2008年3月を以て3年間の活動を終了する。

以下、本年度の活動の概略を記す。

#### (1) 研究会の開催

##### ① 4月25日（水）

鳥越輝昭氏：シャープレスの位置—〈蝶々夫人〉物語の倫理の中心

山口ヨシ子氏：「マダム」バタフライをこえる試み—ヨネ・ノグチの「ミス」モーニング・グローリー

##### ② 6月20日（水）

伊坂青司氏：18世紀ヨーロッパ思想界の〈日本〉表象—ケンペル『日本誌』のインパクト

鈴木陽一氏：中国文学に見える日本

##### ③ 11月21日（水）

鈴木修一氏：『米欧回覧実記』に於ける東西比較

##### ④ 2月20日（水）

復本一郎氏：『羯南と子規と新聞「日本」』

岡島千幸氏：『G・サンソムと日本』

#### (2) 海外調査

前田禎彦氏：9月17日から20日、浙江工商大学日本語文化学院

鈴木彰氏：9月14日から20日、同

※なお詳しくは、「人文学研究所報」に調査報告が掲載される予定なので、そちらを参照されたい。

#### (3) 講演会

##### 7月3日（火）

上田敦子氏（プリンストン大学東アジア学科助教授）

：アメリカにおける「日本研究」の現在

（日高昭二）